

## この1年間の動きの主な特徴

平成16年中における東京都の人口の動きについての主な特徴は、次のとおりである。

### 1. 東京都の人口は約1246万人で過去最大

東京都の人口は、平成17年1月1日現在で12,463,942人となり、平成9年から9年連続で増加を続け、過去最大となった。平成16年中の増減人口は84,968人の増で、前年中の増加人口より4,487人少なく、最近10年間で見ると平成13年中をピークに増加が鈍化している。

この増加人口84,968人の内訳を変動要因別にみると、社会増が71,558人で前年中より6,699人多く、自然増が10,989人で前年中より267人少なかった。

また、増加の内訳を地域別にみると、区部の増は51,411人で前年中より4,771人少なく、市郡部の増は33,972人で前年中より268人多かった。

### 2. 都心3区の人口は18年ぶりに30万人を超えた。人口の都心回帰が継続

平成17年1月1日現在における都心3区(千代田区、中央区、港区)の人口は、303,282人となり、9年連続で増加を続け、18年ぶりに30万人を超えた。平成16年中の増加人口は11,140人で、前年中の増加人口より2,327人多かった。

この増加人口11,140人の内訳を変動要因別にみると、他県との移動は5,826人の増で前年中より1,031人多く、都内間の移動は3,500人の増で前年中より946人多かった。また、自然増減数は81人の増で、2年連続の増加となった。

なお、区部の人口をみると、前年中の減少は豊島区のみであったが、平成16年中は、渋谷区、中野区、豊島区、板橋区の4区が減少した。

### 3. 外国人登録人口は約35万人

外国人登録人口は、平成17年1月1日現在で353,826人となり、平成16年中の増減人口は1,463人の減少となった。最近10年間で見ると、平成13年中をピークに増加が鈍化してきたが、平成16年中で8年連続の増加がストップし、9年ぶりに減少に転じた。

国籍別にみると、中国が2,050人の減で、韓国・朝鮮が511人の増であった。

なお、国籍別人口は、中国が120,331人で外国人登録人口総数の34.01%を占め、以下、韓国・朝鮮、フィリピンが続いている。

# 1 総人口の動き

平成 17 年 1 月 1 日現在における東京都の総人口は 12,463,942 人となった。

平成 16 年中の増加人口は 84,968 人で、前年中の増加人口より 4,487 人少なく、最近 10 年間で見ると平成 13 年中をピークに増加が鈍化している。

昭和 31 年以降の総人口の推移をみると、昭和 38 年に 1000 万人を、また昭和 43 年に 1100 万人を超え、昭和 63 年には 1189 万人まで増加した。その後、減少傾向に転じたが、平成 9 年に増加に転じ、平成 13 年には 1200 万人を突破した。

なお、都の人口が全国に占める割合は、昭和 41 年の 11.00 % をピークに平成 9 年の 9.35 % まで低下したが、平成 10 年に上昇に転じ、平成 15 年に 9.63 % となった。(ただし、全国の人口は、各年 10 月 1 日現在における国勢調査人口及び推計人口(資料:総務省「日本統計年鑑」)であり、都の人口と時点が異なる。)(図 1、表 1)

図1-1 東京都の総人口(推計)の推移

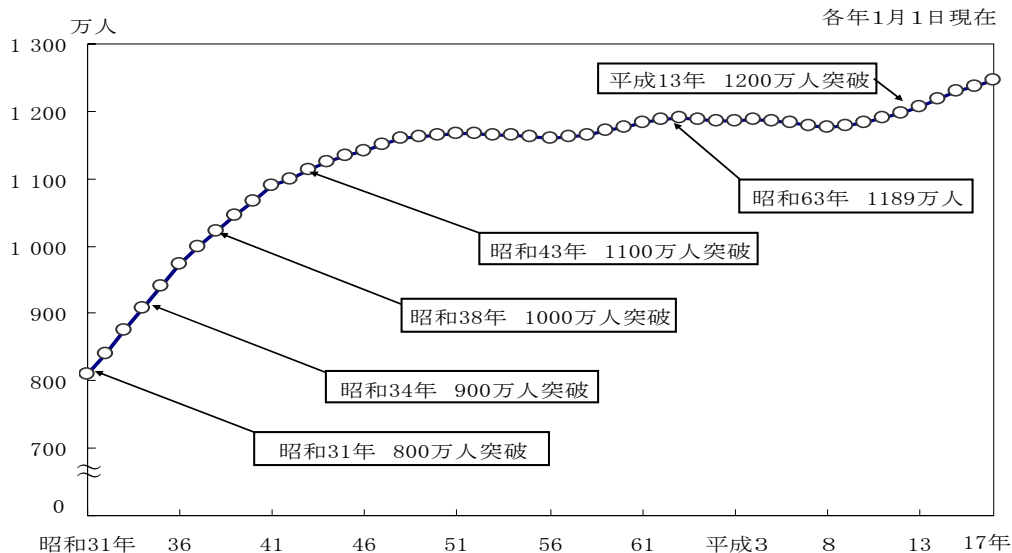


図1-2 増減人口と増減率の推移

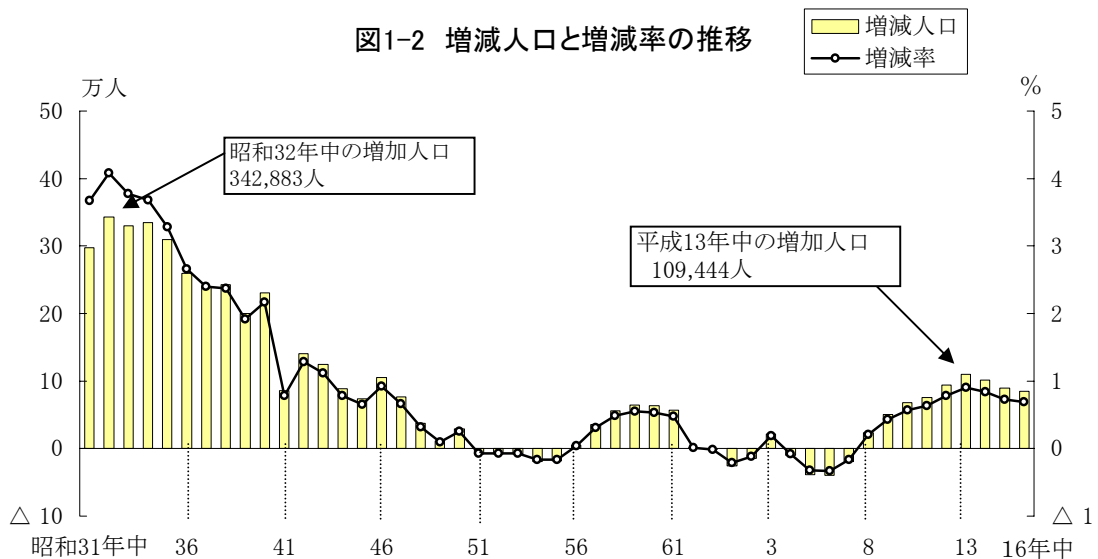


表1 総人口の推移(昭和31年～平成17年)

年次	東京都 各年1月1日現在(単位:人)			(参考)全国 各年10月1日現在(単位:千人)			(参考)
	都の総人口	増減人口	増減率(%)	全国の総人口	増減人口	増減率(%)	構成比(%)
昭和31年(1956)	8 111 233	…	…	90 172	…	…	9.00
32	8 408 710	297 477	3.67	90 928	756	0.84	9.25
33	8 751 593	342 883	4.08	91 767	839	0.92	9.54
34	9 081 817	330 224	3.77	92 641	874	0.95	9.80
35(1960)	9 416 364	334 547	3.68	93 419	778	0.84	10.08
36	9 725 764	309 400	3.29	94 287	868	0.93	10.32
37	9 984 821	259 057	2.66	95 181	894	0.95	10.49
38	10 224 309	239 488	2.40	96 156	975	1.02	10.63
39	10 467 231	242 922	2.38	97 182	1 026	1.07	10.77
40(1965)	10 667 390	200 159	1.91	98 275	1 093	1.12	10.85
41	10 898 133	230 743	2.16	99 036	761	0.77	11.00
42	10 983 963	85 830	0.79	100 196	1 160	1.17	10.96
43	11 124 879	140 916	1.28	101 331	1 135	1.13	10.98
44	11 249 603	124 724	1.12	102 536	1 205	1.19	10.97
45(1970)	11 337 809	88 206	0.78	103 720	1 184	1.15	10.93
46	11 411 539	73 730	0.65	105 145	1 425	1.37	10.85
47	11 516 697	105 158	0.92	107 595	2 450	2.33	10.70
48	11 593 104	76 407	0.66	109 104	1 509	1.40	10.63
49	11 630 209	37 105	0.32	110 573	1 469	1.35	10.52
50(1975)	11 641 248	11 039	0.09	111 940	1 367	1.24	10.40
51	11 670 399	29 151	0.25	113 094	1 154	1.03	10.32
52	11 662 356	△ 8 043	△ 0.07	114 165	1 071	0.95	10.22
53	11 654 533	△ 7 823	△ 0.07	115 190	1 025	0.90	10.12
54	11 646 555	△ 7 978	△ 0.07	116 155	965	0.84	10.03
55(1980)	11 627 359	△ 19 196	△ 0.16	117 060	905	0.78	9.93
56	11 608 747	△ 18 612	△ 0.16	117 902	842	0.72	9.85
57	11 613 838	5 091	0.04	118 728	826	0.70	9.78
58	11 649 762	35 924	0.31	119 536	808	0.68	9.75
59	11 705 883	56 121	0.48	120 305	769	0.64	9.73
60(1985)	11 770 565	64 682	0.55	121 049	744	0.62	9.72
61	11 833 639	63 074	0.54	121 660	611	0.50	9.73
62	11 890 583	56 944	0.48	122 239	579	0.48	9.73
63	11 891 875	1 292	0.01	122 745	506	0.41	9.69
64	11 890 551	△ 1 324	△ 0.01	123 205	460	0.37	9.65
平成2(1990)	11 865 271	△ 25 280	△ 0.21	123 611	406	0.33	9.60
3	11 851 079	△ 14 192	△ 0.12	124 101	490	0.40	9.55
4	11 872 911	21 832	0.18	124 567	466	0.38	9.53
5	11 863 250	△ 9 661	△ 0.08	124 938	371	0.30	9.50
6	11 824 784	△ 38 466	△ 0.32	125 265	327	0.26	9.44
7(1995)	11 785 176	△ 39 608	△ 0.33	125 570	305	0.24	9.39
8	11 766 175	△ 19 001	△ 0.16	125 859	289	0.23	9.35
9	11 790 107	23 932	0.20	126 157	298	0.24	9.35
10	11 840 937	50 830	0.43	126 472	315	0.25	9.36
11	11 908 664	67 727	0.57	126 667	195	0.15	9.40
12(2000)	11 983 971	75 307	0.63	126 926	259	0.20	9.44
13	12 078 270	94 299	0.79	127 291	365	0.29	9.49
14	12 187 714	109 444	0.91	127 435	144	0.11	9.56
15	12 289 519	101 805	0.84	127 619	184	0.14	9.63
16	12 378 974	89 455	0.73	…	…	…	…
17	12 463 942	84 968	0.69	…	…	…	…

注1)「増減人口」は、前年の人口との差をいう。

注2)「全国の総人口」は、各年10月1日現在における国勢調査人口及び推計人口(単位:千人)、「構成比」は、都の総人口が全国の総人口に占める割合をいう。都の総人口と時点の異なる数値で計算したため、参考とした。

資料)全国の数値は、総務省「日本統計年鑑」による。

## 2 性別人口の動き

平成 17 年 1 月 1 日現在の人口 12,463,942 人を性別にみると、男が 6,208,038 人（構成比 49.8%）、女が 6,255,904 人（同 50.2%）となった。

平成 16 年中の増加人口 84,968 人を性別にみると、男の増加人口は 36,619 人で、前年中より 1,924 人少なかった。女の増加人口は 48,349 人で、前年中より 2,563 人少なかった。男女とも、平成 13 年中をピークに増加が鈍化している。

昭和 56 年以降の推移をみると、男は、昭和 64 年の 599 万人まで増加した後、減少に転じ、平成 8 年には 589 万人になった。しかし、その後再び平成 9 年から増加が続いている。

一方、女は、昭和 62 年の 590 万人まで増加した後、ほぼ横ばい状態で推移したが、平成 9 年から再び増加に転じた。

また、性比（女 100 人に対する男の数）の推移をみると、昭和 64 年の 101.7 をピークに低下傾向にあり、平成 10 年には 100 を割り込み、女の数が増えた。その後も性比の低下が続いており、平成 17 年には 99.2 となった。

（図 2、図 3、表 2）

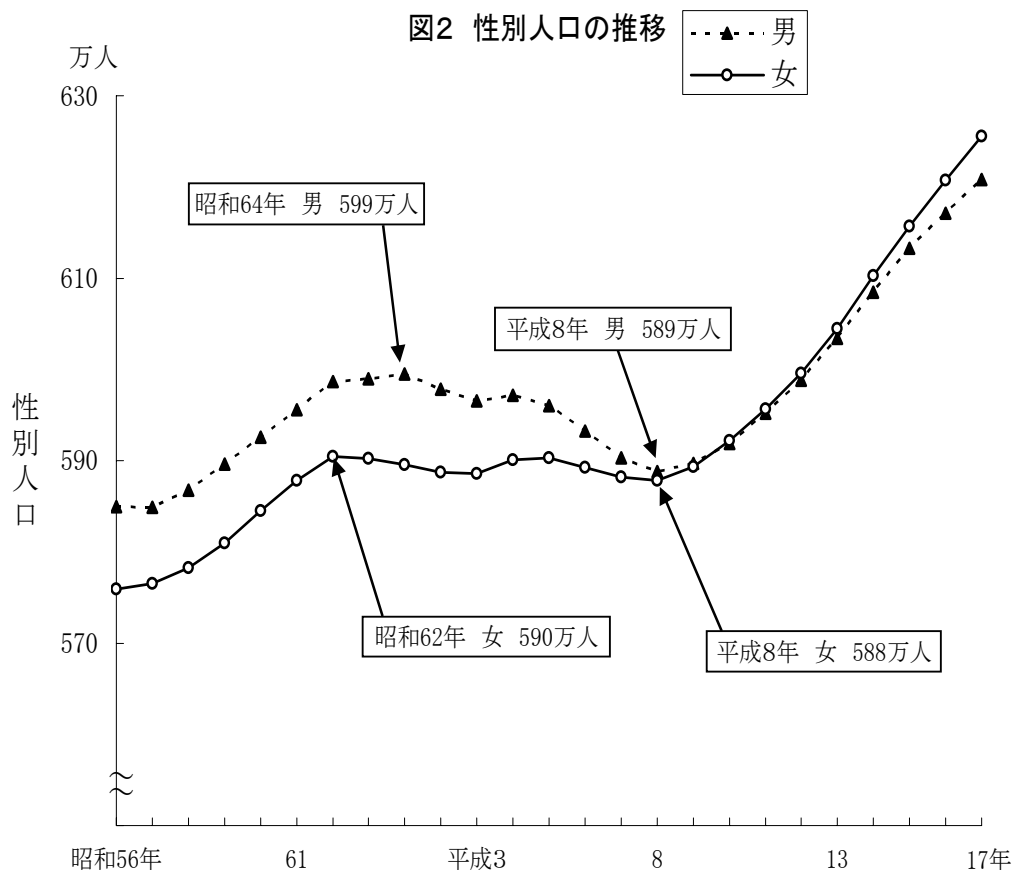


図3 性別増減人口と性比の推移

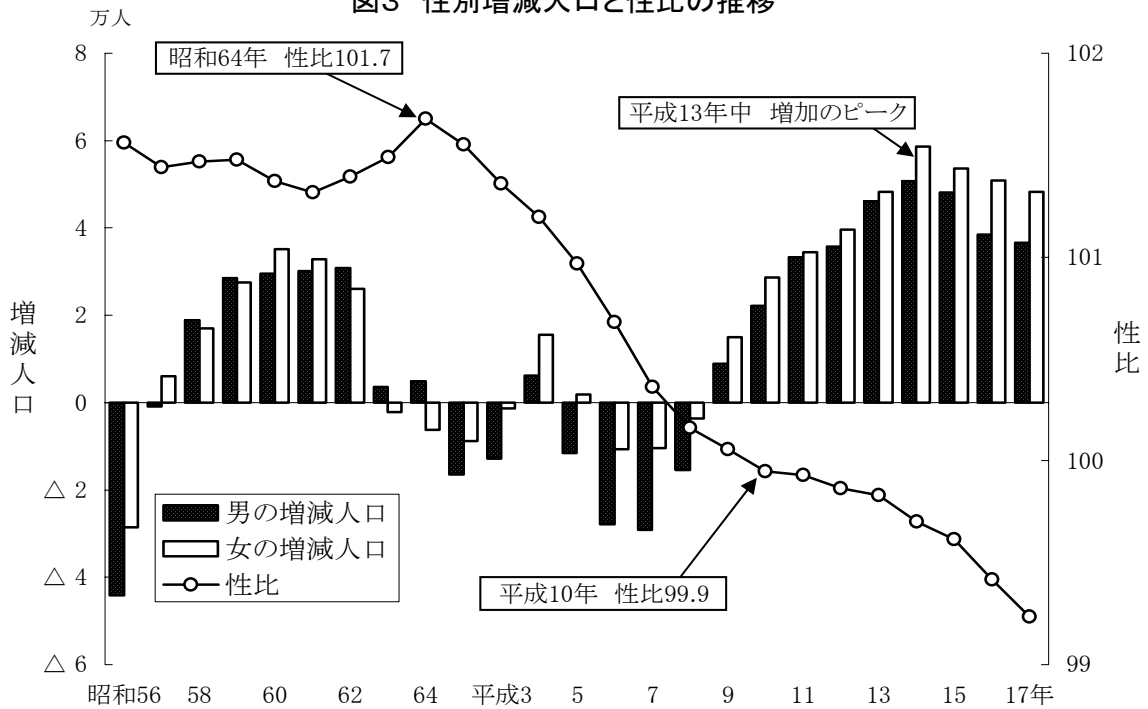


表2 性別人口、性比の推移(昭和56年～平成17年)

	各年1月1日現在						
	男	増減人口	増減率	女	増減人口	増減率	性比(女=100)
昭和56年	5 849 345	△ 44 211	△ 0.75	5 759 402	△ 28 623	△ 0.49	101.6
57	5 848 425	△ 920	△ 0.02	5 765 413	6 011	0.10	101.4
58	5 867 346	18 921	0.32	5 782 416	17 003	0.29	101.5
59	5 895 906	28 560	0.49	5 809 977	27 561	0.48	101.5
60	5 925 374	29 468	0.50	5 845 191	35 214	0.61	101.4
61	5 955 539	30 165	0.51	5 878 100	32 909	0.56	101.3
62	5 986 422	30 883	0.52	5 904 161	26 061	0.44	101.4
63	5 989 949	3 527	0.06	5 901 926	△ 2 235	△ 0.04	101.5
64	5 994 798	4 849	0.08	5 895 753	△ 6 173	△ 0.10	101.7
平成2	5 978 361	△ 16 437	△ 0.27	5 886 910	△ 8 843	△ 0.15	101.6
3	5 965 552	△ 12 809	△ 0.21	5 885 527	△ 1 383	△ 0.02	101.4
4	5 971 800	6 248	0.10	5 901 111	15 584	0.26	101.2
5	5 960 222	△ 11 578	△ 0.19	5 903 028	1 917	0.03	101.0
6	5 932 434	△ 27 788	△ 0.47	5 892 350	△ 10 678	△ 0.18	100.7
7	5 903 261	△ 29 173	△ 0.49	5 881 915	△ 10 435	△ 0.18	100.4
8	5 887 839	△ 15 422	△ 0.26	5 878 336	△ 3 579	△ 0.06	100.2
9	5 896 752	8 913	0.15	5 893 355	15 019	0.26	100.1
10	5 918 923	22 171	0.38	5 922 014	28 659	0.49	99.9
11	5 952 254	33 331	0.56	5 956 410	34 396	0.58	99.9
12	5 987 932	35 678	0.60	5 996 039	39 629	0.67	99.9
13	6 034 003	46 071	0.77	6 044 267	48 228	0.80	99.8
14	6 084 755	50 752	0.84	6 102 959	58 692	0.97	99.7
15	6 132 876	48 121	0.79	6 156 643	53 684	0.88	99.6
16	6 171 419	38 543	0.63	6 207 555	50 912	0.83	99.4
17	6 208 038	36 619	0.59	6 255 904	48 349	0.78	99.2

注)「増減人口」は、前年の人口との差をいう。

### 3 変動要因別増減人口の動き

平成 16 年中の増加人口 84,968 人を主な変動要因別にみると、社会増（他県との移動の増）が 71,558 人、自然増が 10,989 人、外国人登録人口は 1,463 人の減少となった。

昭和 31 年中以降の推移をみると、社会増減数（他県との移動の増減数）は、昭和 32 年中がピークで、その後転入超過から昭和 42 年中には転出超過に変わった。その状態がしばらく続いたが、平成 9 年中から再び転入超過に転じた。

自然増減数は、昭和 43 年中をピークに概ね減少傾向にある。

外国人登録人口の増減数は、昭和 57 年に「出入国管理及び難民認定法」が施行され、「特例永住」（現在は「特別永住」）が認められたこと等に伴い、昭和 58 年中から増加が拡大し始め、その後、拡大と縮小を繰り返している。

平成 9 年中からは 8 年連続で、3 つの要因による増減人口がそろって増加しているが、中でも、社会増が東京都全体の人口増加に大きく寄与しており、平成 16 年中における増加人口の 84.2 % を占めている。

( 図 4、表 3 )

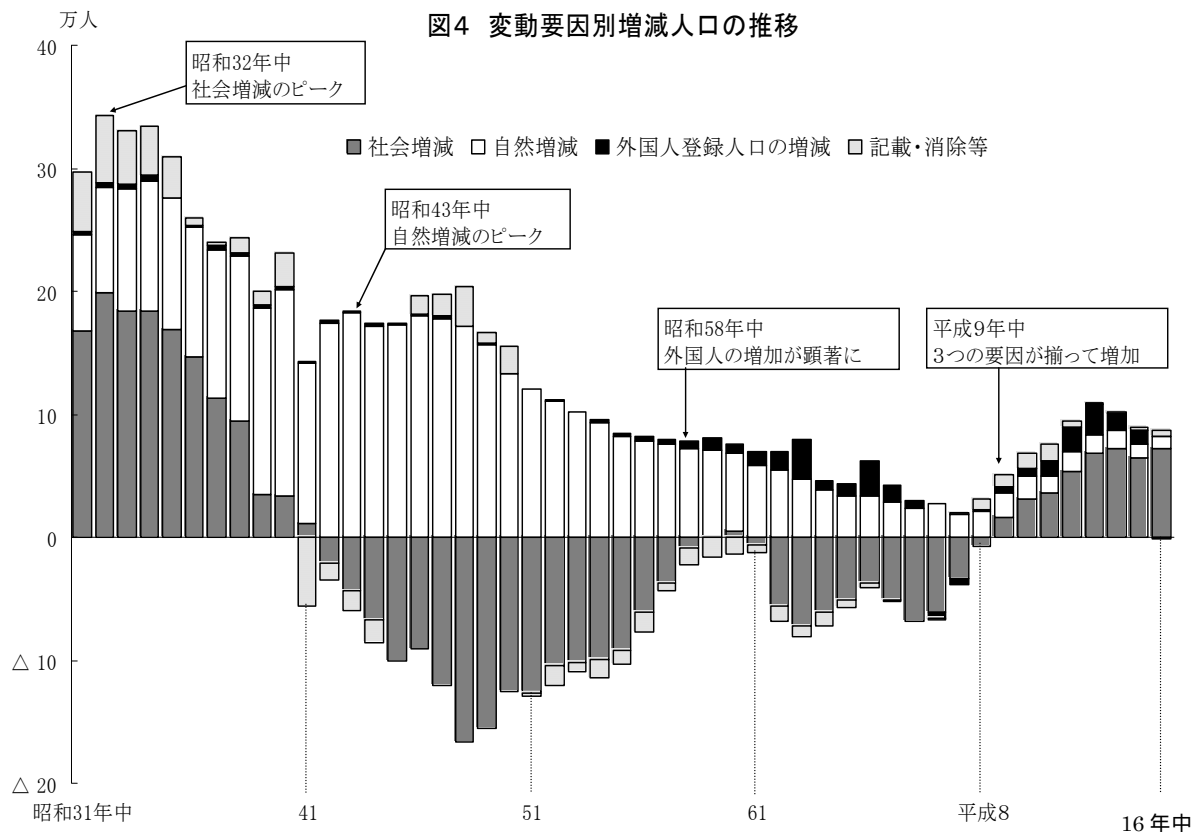


表3 変動要因別増減人口の推移(昭和31年中～平成16年中)

年次	増減人口	社会動態			自然動態			その他の増減	
		社会増減	転入	転出	自然増減	出生	死亡	外国人登録人口	記載・消除等
昭和31年中(1956)	297 477	167 882	546 543	378 661	78 381	116 172	37 791	1 807	49 407
32	342 883	198 726	586 610	387 884	85 753	127 012	41 259	3 439	54 965
33	330 224	183 505	584 337	400 832	99 894	139 956	40 062	3 054	43 771
34	334 547	184 074	607 219	423 145	105 255	142 970	37 715	4 816	40 402
35(1960)	309 400	169 533	628 000	458 467	105 733	144 520	38 787	△ 45	34 179
36	259 057	146 975	640 883	493 908	105 734	140 478	34 744	724	5 624
37	239 488	113 357	670 924	557 567	120 069	157 304	37 235	3 809	2 253
38	242 922	94 163	687 226	593 063	134 892	170 263	35 371	2 048	11 819
39	200 159	34 880	689 503	654 623	151 670	191 250	39 580	2 847	10 762
40(1965)	230 743	33 121	703 747	670 626	168 659	210 689	42 030	1 779	27 184
41	85 830	11 335	700 172	688 837	129 695	175 933	46 238	1 237	△ 56 437
42	140 916	△ 20 648	682 510	703 158	174 204	217 150	42 946	1 752	△ 14 392
43	124 724	△ 43 930	696 221	740 151	182 131	228 963	46 832	2 296	△ 15 773
44	88 206	△ 67 456	680 411	747 867	171 645	222 569	50 924	1 696	△ 17 679
45(1970)	73 730	△ 100 142	668 483	768 625	172 514	226 724	54 210	1 421	△ 63
46	105 158	△ 91 200	668 594	759 794	179 770	233 149	53 379	1 900	14 688
47	76 407	△ 121 081	649 026	770 107	177 437	230 495	53 058	2 187	17 864
48	37 105	△ 166 029	627 156	793 185	171 922	226 143	54 221	△ 358	31 570
49	11 039	△ 155 839	565 001	720 840	156 256	210 386	54 130	1 058	9 564
50(1975)	29 151	△ 125 956	541 685	667 641	132 400	186 591	54 191	918	21 789
51	△ 8 043	△ 125 229	529 407	654 636	120 673	175 103	54 430	△ 1 882	△ 1 605
52	△ 7 823	△ 104 261	528 011	632 272	110 480	164 516	54 036	1 773	△ 15 815
53	△ 7 978	△ 102 280	513 497	615 777	101 873	157 407	55 534	△ 171	△ 7 400
54	△ 19 196	△ 99 738	510 541	610 279	93 595	148 994	55 399	1 661	△ 14 714
55(1980)	△ 18 612	△ 92 482	490 980	583 462	82 583	140 077	57 494	1 926	△ 10 639
56	5 091	△ 61 105	488 051	549 156	78 301	136 660	58 359	3 522	△ 15 627
57	35 924	△ 37 463	491 394	528 857	75 459	133 459	58 000	3 692	△ 5 764
58	56 121	△ 8 358	495 198	503 556	71 554	131 827	60 273	6 383	△ 13 458
59	64 682	145	486 139	485 994	70 148	131 004	60 856	10 744	△ 16 355
60(1985)	63 074	4 851	485 208	480 357	64 078	125 995	61 917	7 328	△ 13 183
61	56 944	△ 6 129	486 672	492 801	58 953	121 811	62 858	10 817	△ 6 697
62	1 292	△ 55 491	474 706	530 197	54 910	118 390	63 480	14 341	△ 12 468
63	△ 1 324	△ 71 570	455 801	527 371	47 500	113 094	65 594	32 401	△ 9 655
平成元	△ 25 280	△ 61 055	454 815	515 870	39 123	106 614	67 491	7 390	△ 10 738
平成2(1990)	△ 14 192	△ 50 441	453 116	503 557	33 963	104 237	70 274	9 605	△ 7 319
3	21 832	△ 36 917	447 461	484 378	33 048	103 736	70 688	29 526	△ 3 825
4	△ 9 661	△ 51 186	434 519	485 705	28 581	101 440	72 859	13 408	△ 464
5	△ 38 466	△ 68 433	424 367	492 800	23 698	98 973	75 275	6 283	△ 14
6	△ 39 608	△ 60 951	420 050	481 001	27 070	102 469	75 399	△ 4 530	△ 1 197
7(1995)	△ 19 001	△ 33 692	430 369	464 061	18 743	98 061	79 318	△ 4 628	576
8	23 932	△ 6 963	431 545	438 508	21 205	98 384	77 179	1 539	8 151
9	50 830	16 184	435 693	419 509	19 352	98 638	79 286	4 840	10 454
10	67 727	30 704	440 098	409 394	18 872	99 620	80 748	6 868	11 283
11	75 307	36 624	436 805	400 181	12 958	98 746	85 788	12 670	13 055
12(2000)	94 299	53 245	444 118	390 873	16 602	101 089	84 487	19 506	4 946
13	109 444	68 457	449 888	381 431	14 255	99 109	84 854	25 123	1 609
14	101 805	72 050	442 925	370 875	15 279	100 414	85 135	12 944	1 532
15	89 455	64 859	441 013	376 154	11 256	98 730	87 474	11 068	2 272
16年中	84 968	71 558	433 270	361 712	10 989	100 191	89 202	△ 1 463	3 884

注)この表における「社会増減」は、他県との移動の増減数をいう。

(1) 社会動態

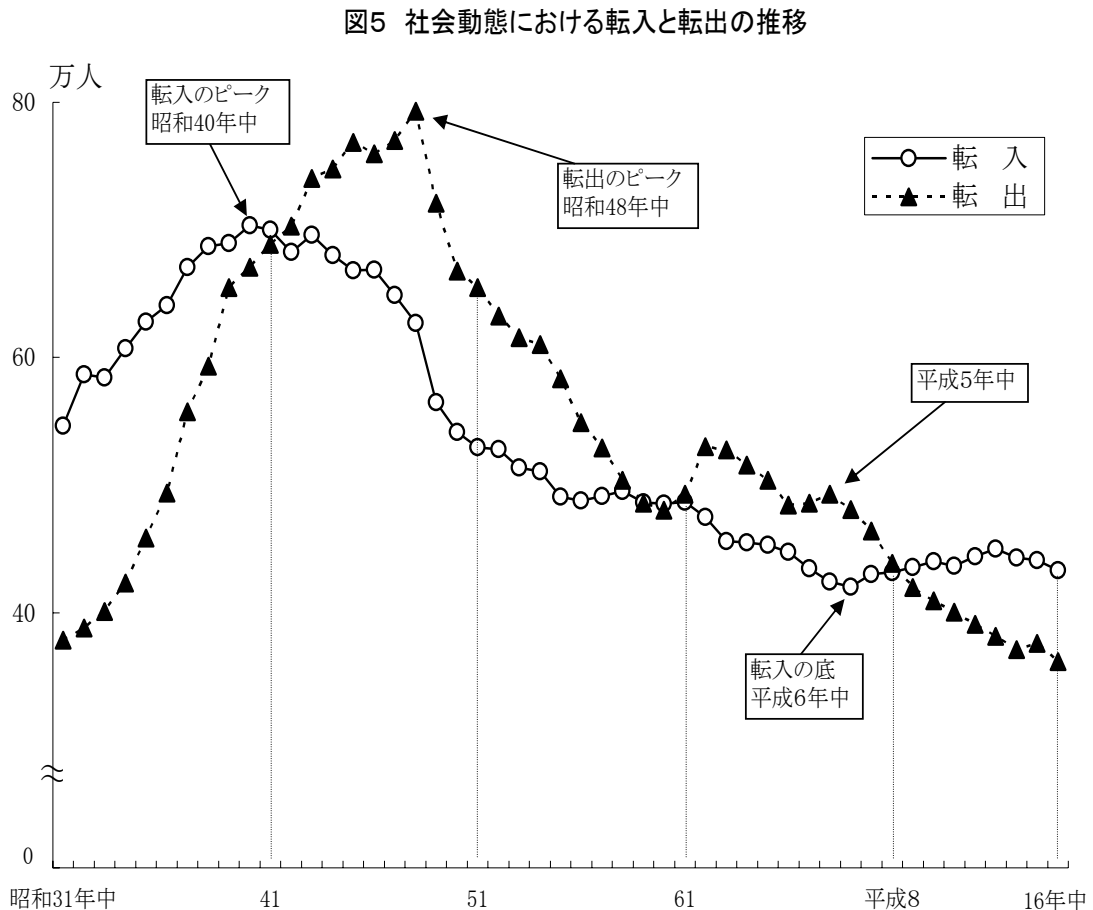
平成 16 年中の社会増（他県との移動の増）は 71,558 人で、前年中より 6,699 人多かった。

これを転入・転出別にみると、転入数は 433,270 人で前年中より 7,743 人少なく、転出数は 361,712 人で前年中より 14,442 人少なかった。

昭和 31 年中からの推移をみると、転入数は、昭和 40 年中をピークに、平成 6 年中までの間、減少傾向が続いたが、平成 7 年中から横ばいとなった。他方、転出数は昭和 48 年中をピークに減少が続き、昭和 62 年中に増加に転じたが、その後再び減少傾向となり、平成 16 年中の転出は、過去最低となった。

こうした転入数が転出数を上回る社会増は、平成 9 年中から 8 年連続で続いている。

( 図 5、表 3 )





## (2) 自然動態

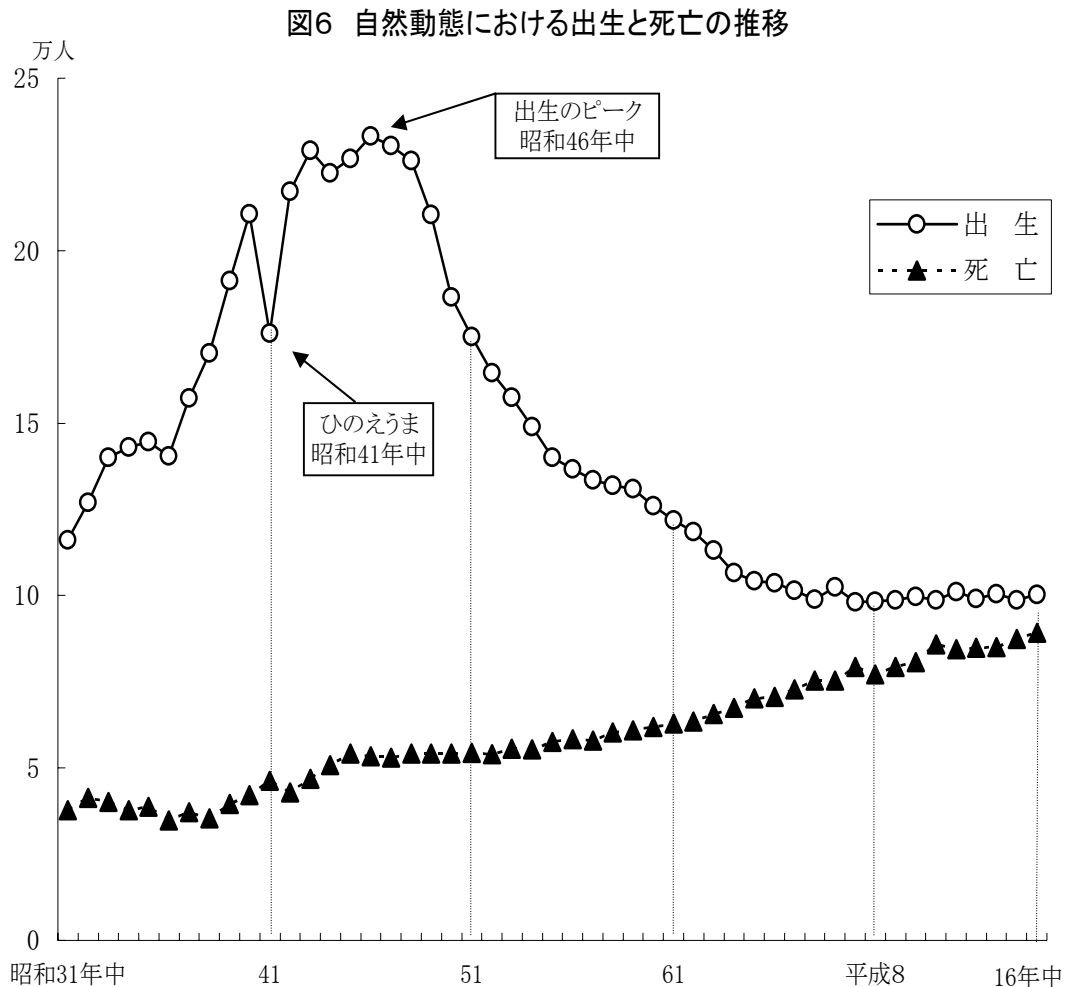
平成 16 年中の自然増は 10,989 人で、前年中より 267 人少なかった。

これを出生・死亡別にみると、出生数は 100,191 人で前年中より 1,461 人多く、死亡数は 89,202 人で前年中より 1,728 人多かった。

昭和 31 年中からの推移をみると、出生数は、昭和 46 年中の 233,149 人をピークに、その後少しずつ減少してきたが、平成になってからは、ほぼ横ばい(約 10 万人)で推移している。

一方、死亡数は、昭和 44 年中に 5 万人を超え、平成 10 年中には 8 万人台となり以降も増加傾向にあり、平成 16 年中には 89,202 人となった。

(図 6、表 3)

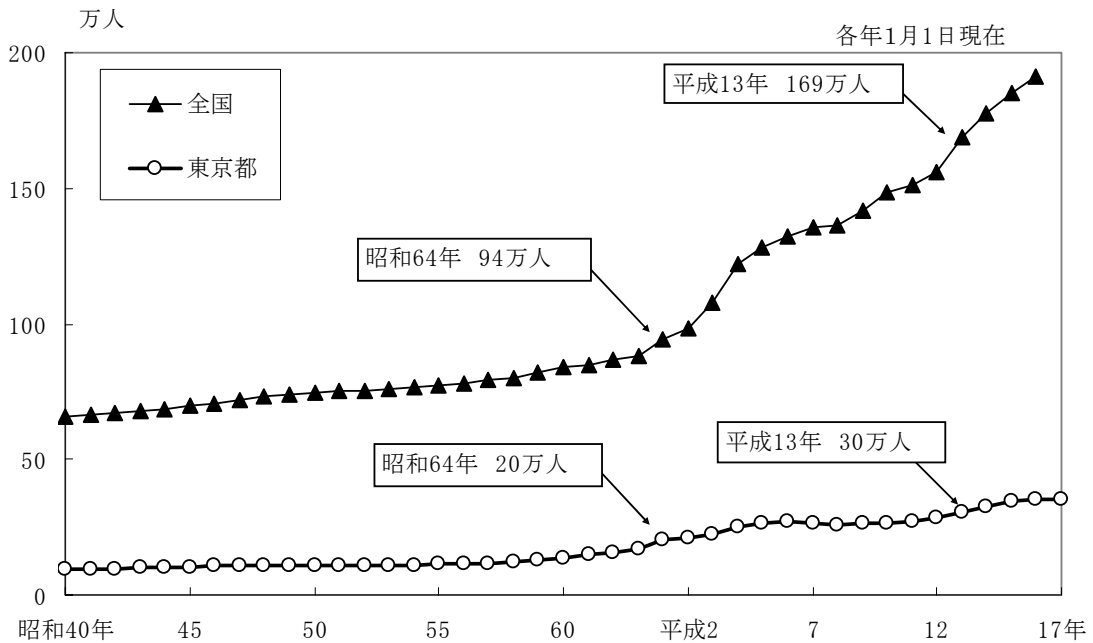


### (3) 外国人登録人口の増減

平成17年1月1日現在の外国人登録人口は353,826人で、都の総人口の2.84%を占め、35人に1人が外国人である。

平成16年中の増減人口は1,463人の減少となった。最近10年間で見ると、平成13年中をピークに増加が鈍化していたが、平成16年中で8年連続の増加がストップし、9年ぶりに減少に転じた。(図7、図8、表4)

図7 外国人登録人口の推移(全国・東京都)



資料 全国の数値は、法務省「在留外国人統計」による。

図8 外国人登録人口増減の推移

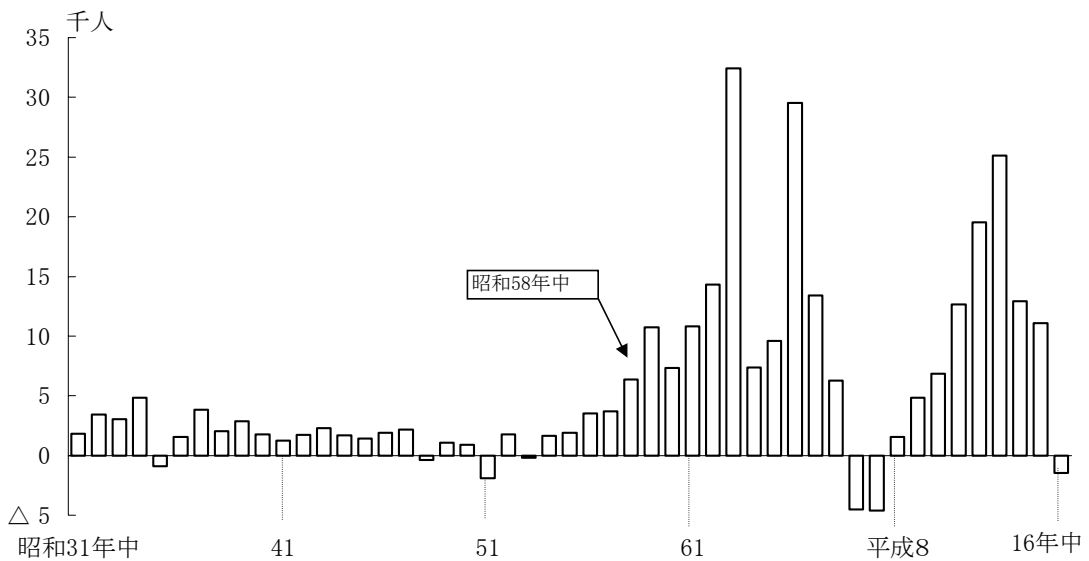


表4 外国人登録人口の推移(昭和31年～平成17年)

各年1月1日現在						
年次	人口	増減人口	増減率(%)	構成比(%)	(参考)全国	増減率(%)
昭和31年(1956)	72 757	…	…	0.90	641 482	…
32	74 564	1 807	2.48	0.89	638 050	△ 0.54
33	78 003	3 439	4.61	0.89	667 036	4.54
34	81 057	3 054	3.92	0.89	676 983	1.49
35(1960)	85 873	4 816	5.94	0.91	686 609	1.42
36	85 828	△ 45	△ 0.05	0.88	650 566	△ 5.25
37	86 552	724	1.81	0.87	640 395	△ 1.56
38	90 361	3 809	4.40	0.88	645 043	0.73
39	92 409	2 048	2.27	0.88	651 574	1.01
40(1965)	95 256	2 847	3.08	0.89	659 789	1.26
41	97 035	1 779	1.87	0.89	665 989	0.94
42	98 272	1 237	1.27	0.89	668 318	0.35
43	100 024	1 752	1.78	0.90	676 144	1.17
44	102 320	2 296	2.30	0.91	685 075	1.32
45(1970)	104 016	1 696	1.66	0.92	697 504	1.81
46	105 437	1 421	1.37	0.92	708 458	1.57
47	107 337	1 900	1.80	0.93	718 795	1.46
48	109 524	2 187	2.04	0.94	735 371	2.31
49	109 166	△ 358	△ 0.33	0.94	738 410	0.41
50(1975)	110 224	1 058	0.97	0.95	745 565	0.97
51	111 142	918	0.83	0.95	751 842	0.84
52	109 260	△ 1 882	△ 1.69	0.94	753 924	0.28
53	111 033	1 773	1.62	0.95	762 050	1.08
54	110 862	△ 171	△ 0.15	0.95	766 894	0.64
55(1980)	112 523	1 661	1.50	0.97	774 505	0.99
56	114 449	1 926	1.71	0.99	782 910	1.09
57	117 971	3 522	3.08	1.02	792 946	1.28
58	121 663	3 692	3.13	1.04	802 477	1.20
59	128 046	6 383	5.25	1.09	817 129	1.83
60(1985)	138 790	10 744	8.39	1.18	841 831	3.02
61	146 118	7 328	5.28	1.23	850 612	1.04
62	156 935	10 817	7.40	1.32	867 237	1.95
63	171 276	14 341	9.14	1.44	884 025	1.94
64	203 677	32 401	18.92	1.71	941 005	6.45
平成2(1990)	211 067	7 390	3.63	1.78	984 455	4.62
3	220 672	9 605	4.55	1.86	1 075 317	9.23
4	250 198	29 526	13.38	2.11	1 218 891	13.35
5	263 606	13 408	5.36	2.22	1 281 644	5.15
6	269 889	6 283	2.38	2.28	1 320 748	3.05
7(1995)	265 359	△ 4 530	△ 1.68	2.25	1 354 011	2.52
8	260 731	△ 4 628	△ 1.74	2.22	1 362 371	0.62
9	262 270	1 539	0.59	2.22	1 415 136	3.87
10	267 110	4 840	1.85	2.26	1 482 707	4.77
11	273 978	6 868	2.57	2.30	1 512 116	1.98
12(2000)	286 648	12 670	4.62	2.39	1 556 113	2.91
13	306 154	19 506	6.80	2.53	1 686 444	8.38
14	331 277	25 123	8.21	2.72	1 778 462	5.46
15	344 221	12 944	3.91	2.80	1 851 758	4.12
16	355 289	11 068	3.22	2.87	1 915 030	3.42
17	353 826	△ 1 463	△ 0.41	2.84	…	…

注1)「増減人口」は、前年の人口との差をいう。

2)「構成比」は、都の総人口に占める外国人登録人口の割合である。

3)「全国の外国人登録人口」は、法務省発表の数値である。

資料) 全国の数値は、法務省「在留外国人統計」、総務省「日本統計年鑑」による。

平成16年中の減少を国籍別にみると、中国が2,050人の減であり、韓国・朝鮮が511人の増であった。

なお、国籍別人口は、中国が120,331人で外国人登録人口総数の34.01%を占め、以下、韓国・朝鮮、フィリピンが続いている。

増減人口は、韓国・朝鮮、インド、フィリピンの順に増加が多く、増減率は、インド(8.74%)、タイ(3.25%)、フランス(3.04%)の順に増加率が高い。

(表5)

表5 国籍別外国人登録人口(平成15~17年)

		各年1月1日現在								
国	籍	外国人登録人口			増減人口		増減率(%)		構成比(%)	
		15年	16年	17年	16年	17年	16年	17年	16年	17年
総	数	344 221	355 289	353 826	11 068	△ 1 463	3.22	△ 0.41	100.00	100.00
	中 国	114 233	122 381	120 331	8 148	△ 2 050	7.13	△ 1.68	34.45	34.01
	韓 国・朝 鮮	103 241	102 680	103 191	△ 561	511	△ 0.54	0.50	28.90	29.16
	フ ィ リ ピ ン	29 789	31 150	31 505	1 361	355	4.57	1.14	8.77	8.90
	米 国	18 469	18 267	18 043	△ 202	△ 224	△ 1.09	△ 1.23	5.14	5.10
	英 国	8 013	7 808	7 585	△ 205	△ 223	△ 2.56	△ 2.86	2.20	2.14
	タ イ	5 616	5 815	6 004	199	189	3.54	3.25	1.64	1.70
	イ ン ド	4 980	5 410	5 883	430	473	8.63	8.74	1.52	1.66
	ブ ラ ジ ル	4 978	4 892	4 705	△ 86	△ 187	△ 1.73	△ 3.82	1.38	1.33
	フ ラ ン ス	4 019	4 148	4 274	129	126	3.21	3.04	1.17	1.21
	オーストラリア	4 116	4 161	4 027	45	△ 134	1.09	△ 3.22	1.17	1.14
	そ の 他	46 767	48 577	48 278	1 810	△ 299	3.87	△ 0.62	13.67	13.64

注)構成比は、外国人登録人口総数に占める国籍別外国人登録人口の割合である。

外国人登録人口を区市町村別にみると、新宿区が28,272人、次いで足立区、江戸川区の順である。

なお、各区市町村の総人口に占める外国人の割合をみると、港区の10.42%が最も高く、区民の10人に1人が外国人である。新宿区が9.42%で港区が続いている。

(表6)

表6 外国人登録人口の上位10区市町村(平成15~17年)

		各年1月1日現在						
区 市 町 村		外国人登録人口			増減率(%)		人口に占める割合(%)注2)	
		15年	16年	17年	16年	17年	16年	17年
新 宿 区		28 116	29 143	28 272	3.65	△ 2.99	9.78	9.42
足 立 区		20 875	21 431	21 249	2.66	△ 0.85	3.44	3.40
江 戸 川 区		18 438	19 343	19 557	4.91	1.11	3.02	3.03
港 区		16 494	17 154	18 182	4.00	5.99	10.13	10.42
大 田 区		15 534	16 015	15 716	3.10	△ 1.87	2.42	2.36
豊 島 区		16 364	16 833	15 610	2.87	△ 7.27	6.69	6.25
板 橋 区		14 748	15 364	15 372	4.18	0.05	2.93	2.93
世 田 谷 区		15 427	15 067	14 587	△ 2.33	△ 3.19	1.81	1.75
江 東 区		12 928	13 753	14 496	6.38	5.40	3.41	3.53
北 区		12 931	13 743	13 576	6.28	△ 1.22	4.21	4.15

注1)平成17年1月1日現在で外国人登録人口の多い10区市町村とした。

2)人口に占める割合は、各区市町村の人口に占める外国人登録人口の割合である。

#### 4 地域別人口の動き

平成 17 年 1 月 1 日現在の人口 12,463,942 人を地域別にみると、区部が 8,396,594 人（構成比 67.37%）、市郡部が 4,041,397 人（同 32.42%）、島部が 26,597 人（同 0.21%）である。

平成 16 年中の増加人口 84,968 人を地域別にみると、区部の増加人口は 51,411 人で、前年より 4,771 人少なかった。市郡部の増加人口は 33,972 人で、前年より 268 人多かった。島部は 288 人減少した。

昭和 31 年中からの推移をみると、区部は、昭和 32 年中をピークに増加幅が縮小し、昭和 41 年中から減少傾向が続いたが、平成 8 年中を境に増加に転じ、その後 9 年連続で増加が続いている。

市郡部は、昭和 40 年中をピークに増加幅の縮小が続いたが、平成 11 年中からは 3 万人台の増加が続いている。島部は、多少変動はあるものの、概ね減少が続いている。

（図 9、表 7）

図9-1 地域別増減人口の推移

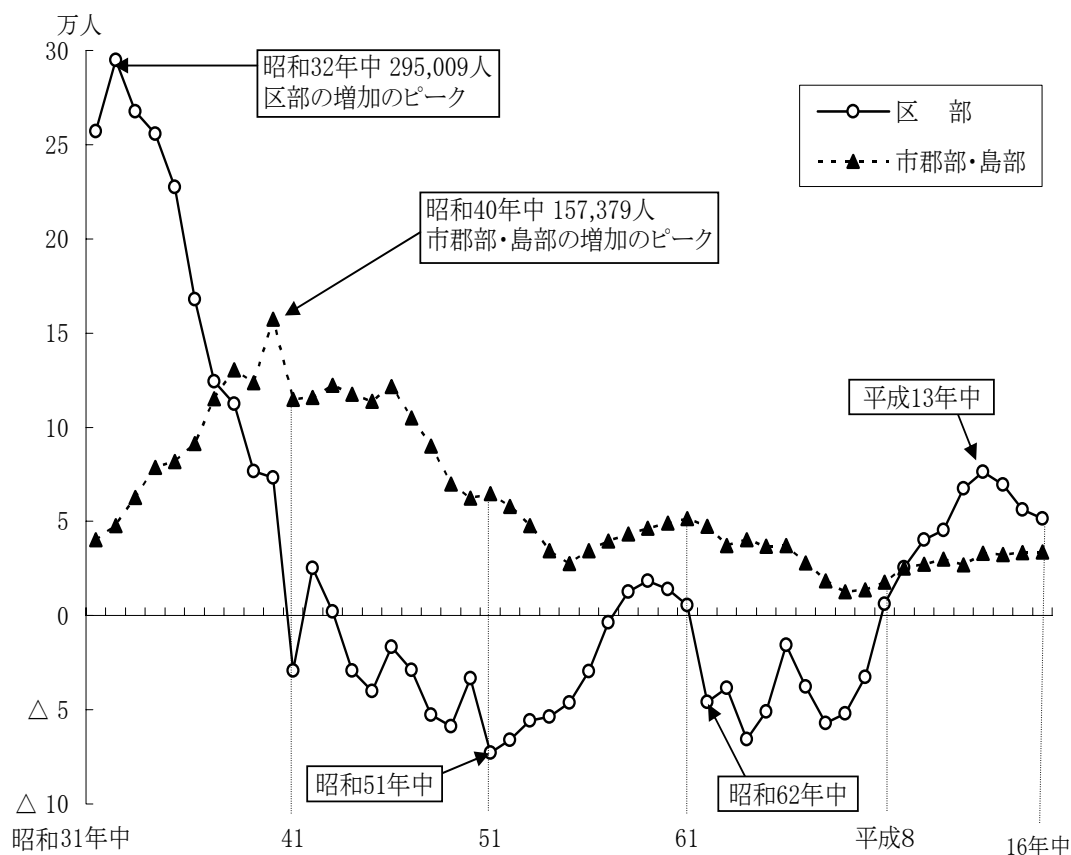


図9-2 区部の人口(推計)の推移

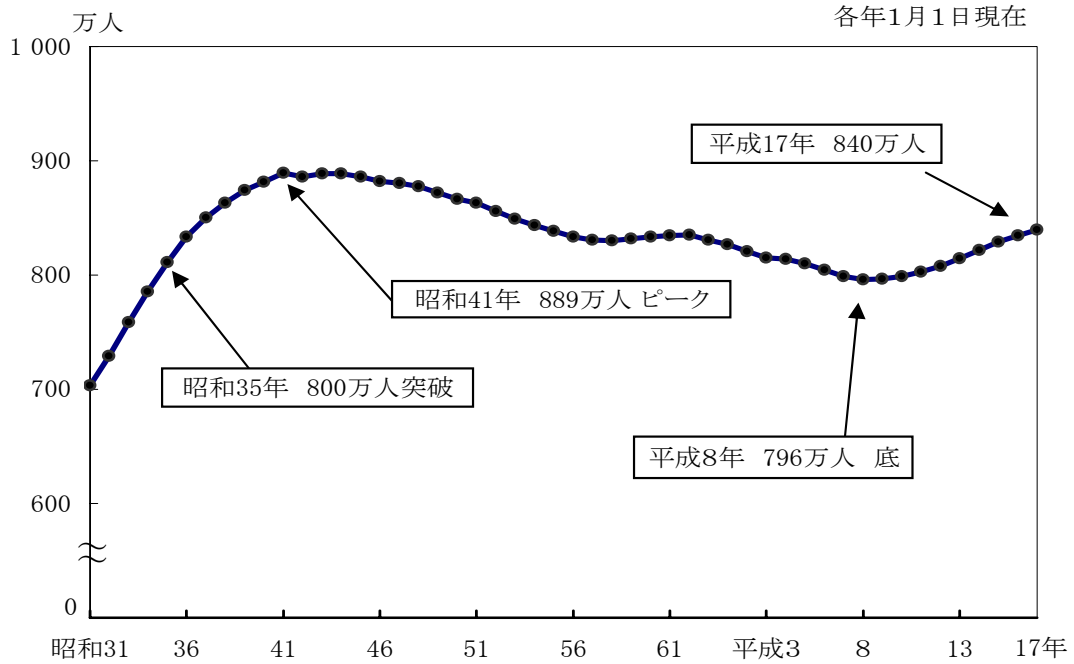


図9-3 市郡部の人口(推計)の推移

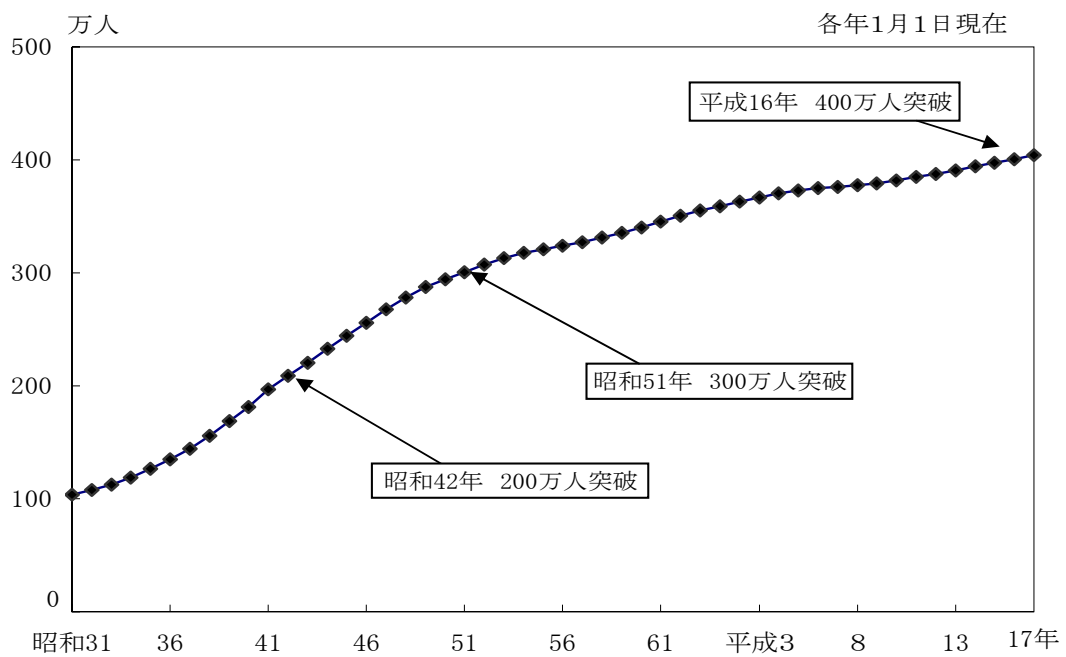


表7 地域別人口の推移(昭和31年～平成17年)

年次	各年1月1日現在											
	人 口				増 減 人 口				増 減 率 (%)			
	総 数	区 部	市 郡 部	島 部	総 数	区 部	市 郡 部	島 部	総 数	区 部	市 郡 部	島 部
昭和31年	8 111 233	7 034 126	1 036 430	40 677	...	...	...	...	...	...	...	...
32	8 408 710	7 291 283	1 077 165	40 262	297 477	257 157	40 735	△ 415	3.67	3.66	3.93	△ 1.02
33	8 751 593	7 586 292	1 125 242	40 059	342 883	295 009	48 077	△ 203	4.08	4.05	4.46	△ 0.50
34	9 081 817	7 853 898	1 188 179	39 740	330 224	267 606	62 937	△ 319	3.77	3.53	5.59	△ 0.80
35	9 416 364	8 109 588	1 267 479	39 297	334 547	255 690	79 300	△ 443	3.68	3.26	6.67	△ 1.11
36	9 725 764	8 337 061	1 349 975	38 728	309 400	227 473	82 496	△ 569	3.29	2.80	6.51	△ 1.45
37	9 984 821	8 504 930	1 441 802	38 089	259 057	167 869	91 827	△ 639	2.66	2.01	6.80	△ 1.65
38	10 224 309	8 629 119	1 557 638	37 552	239 488	124 189	115 836	△ 537	2.40	1.46	8.03	△ 1.41
39	10 467 231	8 741 698	1 688 617	36 916	242 922	112 579	130 979	△ 636	2.38	1.30	8.41	△ 1.69
40	10 667 390	8 818 244	1 812 836	36 310	200 159	76 546	124 219	△ 606	1.91	0.88	7.36	△ 1.64
41	10 898 133	8 891 608	1 970 939	35 586	230 743	73 364	158 103	△ 724	2.16	0.83	8.72	△ 1.99
42	10 983 963	8 862 523	2 086 604	34 836	85 830	△ 29 085	115 665	△ 750	0.79	△ 0.33	5.87	△ 2.11
43	11 124 879	8 887 715	2 202 947	34 217	140 916	25 192	116 343	△ 619	1.28	0.28	5.58	△ 1.78
44	11 249 603	8 889 974	2 325 709	33 920	124 724	2 259	122 762	△ 297	1.12	0.03	5.57	△ 0.87
45	11 337 809	8 860 716	2 443 706	33 387	88 206	△ 29 258	117 997	△ 533	0.78	△ 0.33	5.07	△ 1.57
46	11 411 539	8 820 711	2 557 621	33 207	73 730	△ 40 005	113 915	△ 180	0.65	△ 0.45	4.66	△ 0.54
47	11 516 697	8 804 252	2 679 032	33 413	105 158	△ 16 459	121 411	206	0.92	△ 0.19	4.75	0.62
48	11 593 104	8 775 555	2 783 620	33 929	76 407	△ 28 697	104 588	516	0.66	△ 0.33	3.90	1.54
49	11 630 209	8 722 832	2 873 199	34 178	37 105	△ 52 723	89 579	249	0.32	△ 0.60	3.22	0.73
50	11 641 248	8 663 944	2 943 083	34 221	11 039	△ 58 888	69 884	43	0.09	△ 0.68	2.43	0.13
51	11 670 399	8 630 752	3 005 648	33 999	29 151	△ 33 192	62 565	△ 222	0.25	△ 0.38	2.13	△ 0.65
52	11 662 356	8 558 004	3 070 492	33 860	△ 8 043	△ 72 748	64 844	△ 139	△ 0.07	△ 0.84	2.16	△ 0.41
53	11 654 533	8 492 206	3 128 434	33 893	△ 7 823	△ 65 798	57 942	33	△ 0.07	△ 0.77	1.89	0.10
54	11 646 555	8 436 555	3 176 131	33 869	△ 7 978	△ 55 651	47 697	△ 24	△ 0.07	△ 0.66	1.52	△ 0.07
55	11 627 359	8 383 008	3 210 479	33 872	△ 19 196	△ 53 547	34 348	3	△ 0.16	△ 0.63	1.08	0.01
56	11 608 747	8 336 797	3 238 214	33 736	△ 18 612	△ 46 211	27 735	△ 136	△ 0.16	△ 0.55	0.86	△ 0.40
57	11 613 838	8 307 425	3 272 744	33 669	5 091	△ 29 372	34 530	△ 67	0.04	△ 0.35	1.07	△ 0.20
58	11 649 762	8 303 726	3 312 311	33 725	35 924	△ 3 699	39 567	56	0.31	△ 0.04	1.21	0.17
59	11 705 883	8 316 417	3 355 841	33 625	56 121	12 691	43 530	△ 100	0.48	0.15	1.31	△ 0.30
60	11 770 565	8 334 869	3 402 060	33 636	64 682	18 452	46 219	11	0.55	0.22	1.38	0.03
61	11 833 639	8 348 820	3 451 261	33 558	63 074	13 951	49 201	△ 78	0.54	0.17	1.45	△ 0.23
62	11 890 583	8 354 190	3 503 025	33 368	56 944	5 370	51 764	△ 190	0.48	0.06	1.50	△ 0.57
63	11 891 875	8 308 222	3 550 596	33 057	1 292	△ 45 968	47 571	△ 311	0.01	△ 0.55	1.36	△ 0.93
64	11 890 551	8 269 686	3 588 063	32 802	△ 1 324	△ 38 536	37 467	△ 255	△ 0.01	△ 0.46	1.06	△ 0.77
平成 2	11 865 271	8 204 010	3 628 596	32 665	△ 25 280	△ 65 676	40 533	△ 137	△ 0.21	△ 0.79	1.13	△ 0.42
3	11 851 079	8 153 030	3 665 692	32 357	△ 14 192	△ 50 980	37 096	△ 308	△ 0.12	△ 0.62	1.02	△ 0.94
4	11 872 911	8 137 548	3 703 289	32 074	21 832	△ 15 482	37 597	△ 283	0.18	△ 0.19	1.03	△ 0.87
5	11 863 250	8 100 016	3 731 378	31 856	△ 9 661	△ 37 532	28 089	△ 218	△ 0.08	△ 0.46	0.76	△ 0.68
6	11 824 784	8 042 920	3 749 927	31 937	△ 38 466	△ 57 096	18 549	81	△ 0.32	△ 0.70	0.50	0.25
7	11 785 176	7 990 789	3 762 425	31 962	△ 39 608	△ 52 131	12 498	25	△ 0.33	△ 0.65	0.33	0.08
8	11 766 175	7 958 234	3 775 888	32 053	△ 19 001	△ 32 555	13 463	91	△ 0.16	△ 0.41	0.36	0.28
9	11 790 107	7 964 404	3 793 836	31 867	23 932	6 170	17 948	△ 186	0.20	0.08	0.48	△ 0.58
10	11 840 937	7 990 000	3 819 303	31 634	50 830	25 596	25 467	△ 233	0.43	0.32	0.67	△ 0.73
11	11 908 664	8 030 320	3 846 794	31 550	67 727	40 320	27 491	△ 84	0.57	0.50	0.72	△ 0.27
12	11 983 971	8 075 722	3 876 840	31 409	75 307	45 402	30 046	△ 141	0.63	0.57	0.78	△ 0.45
13	12 078 270	8 143 171	3 907 523	27 594	94 299	67 449	30 683	△ 3815	0.79	0.84	0.79	△ 12.15
14	12 187 714	8 219 622	3 940 975	27 327	109 444	76 451	33 452	△ 267	0.91	0.94	0.86	△ 0.97
15	12 289 519	8 289 001	3 973 721	27 174	101 805	69 379	32 746	△ 153	0.84	0.84	0.83	△ 0.56
16	12 378 974	8 345 183	4 007 425	26 885	89 455	56 182	33 704	△ 289	0.73	0.68	0.85	△ 1.06
17	12 463 942	8 396 594	4 041 397	26 597	84 968	51 411	33 972	△ 288	0.69	0.62	0.85	△ 1.07

注1)「増減人口」は、前年の人口との差をいう。

2) 三宅村の人口は平成12年国勢調査によりゼロとなったため、その後に提出された住民基本台帳上の届出等による増減数は三宅村には加えず、総数にのみ加えた。このため、平成13～17年においては、総数と各地域の合計は一致しない。

なお、避難後、三宅村に提出された住民基本台帳上の届出数は、平成12年中に、転入7、転出27、出生9、死亡8。平成13年中は転入7、転出180、出生21、死亡37。平成14年中は転入6、転出145、出生14、死亡44。平成15年中は転入3、転出106、出生14、死亡53。平成16年中は転入5、転出89、出生17、死亡57である。(転入・転出には都内間移動を含む。)

( 1 ) 区部の変動要因別増減人口の推移

(ア) 区部全体

平成 16 年中の区部の増減人口は 51,411 人の増で、前年中より 4,771 人少なかった。最近の 10 年間で見ると、平成 13 年中をピークに増加が鈍化している。

増減人口を変動要因別にみると、他県との移動は 49,069 人の増で前年中より 5,641 人多く、都内間の移動は 1,333 人の減で前年中より 338 人多く減少した。

また、自然増減については、出生数は 65,979 人、死亡数は 62,448 人であり、3,531 人の増加で前年中より 159 人多かった。出生数は、6 万 5 千人前後とほぼ横ばいで推移している。死亡数は、平成元年中の 49,723 人から平成 16 年中の 62,448 人となった。その他、外国人登録人口は、9 年ぶりに減少に転じ、2,695 人の減少であった。

( 図 10、表 8 )

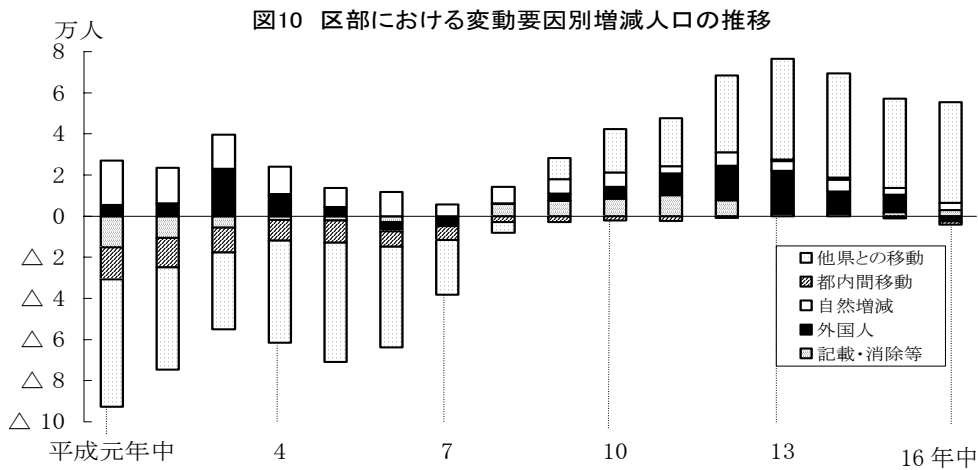


表 8 区部における変動要因別増減人口の推移(平成元～16年中)

年次	増減人口	他県との移動増減			都内間の移動増減			自然増減			その他の増減	
		増減	転入	転出	増減	転入	転出	増減	出生	死亡	外国人	記載・消除等
平成元年中	△ 65 676	△ 62 019	322 833	384 852	△ 15 596	264 000	279 596	21 475	71 198	49 723	5 485	△ 15 021
2	△ 50 980	△ 49 650	321 058	370 708	△ 14 286	257 915	272 201	17 302	69 056	51 754	6 286	△ 10 632
3	△ 15 482	△ 37 501	316 448	353 949	△ 12 005	248 396	260 401	16 658	68 495	51 837	22 943	△ 5 577
4	△ 37 532	△ 49 606	302 951	352 557	△ 10 011	237 812	247 823	13 227	66 381	53 154	10 811	△ 1 953
5	△ 57 096	△ 58 154	296 182	354 336	△ 10 580	249 082	259 662	9 454	64 504	55 050	4 380	△ 2 196
6	△ 52 131	△ 48 890	294 753	343 643	△ 7 518	257 926	265 444	11 672	66 408	54 736	△ 4 626	△ 2 769
7	△ 32 555	△ 26 523	303 931	330 454	△ 6 950	269 507	276 457	5 704	63 391	57 687	△ 4 615	△ 171
8	6 170	△ 5 311	305 851	311 162	△ 2 803	270 427	273 230	8 110	63 783	55 673	170	6 004
9	25 596	10 475	308 197	297 722	△ 2 777	262 484	265 261	6 994	63 976	56 982	3 566	7 338
10	40 320	21 134	312 887	291 753	△ 2 050	259 243	261 293	6 989	64 557	57 568	5 785	8 462
11	45 402	23 403	309 729	286 326	△ 2 233	263 741	265 974	3 371	64 273	60 902	10 586	10 275
12	67 449	37 366	316 691	279 325	△ 886	273 054	273 940	6 335	65 965	59 630	16 863	7 771
13	76 451	49 045	321 652	272 607	605	268 309	267 704	4 753	64 811	60 058	20 851	1 197
14	69 379	50 612	315 730	265 118	952	263 736	262 784	5 911	65 940	60 029	10 622	1 282
15	56 182	43 428	313 845	270 417	△ 995	270 768	271 763	3 372	64 989	61 617	8 340	2 037
16年中	51 411	49 069	309 427	260 358	△ 1 333	270 470	271 803	3 531	65 979	62 448	△ 2 695	2 839



(イ) 都心3区

都心3区(千代田区、中央区、港区)の人口は、昭和31年から一貫して減少を続けたが、平成8年の242,994人を底に増加に転じ、平成17年1月1日現在で303,282人になった。

平成16年中の増減人口は11,140人の増で、前年中の増加人口より2,327人多かった。増加幅の伸び縮みは、年によって差がある。

増減人口を変動要因別にみると、他県との移動は5,826人の増で前年中より1,031人多く、都内間の移動は3,500人の増で前年中より946人多かった。また、自然増減については、出生数が2,398人、死亡数は2,317人であり、81人の増で2年連続の増加となった。外国人登録人口は1,572人の増加で、前年中より608人多かった。

(図11、図12、表9、表10)

表9 都心3区の人口の推移(昭和31年～平成17年)

各年1月1日現在									
年次	都心3区	千代田区	中央区	港区	年次	都心3区	千代田区	中央区	港区
昭和31年	549 216	122 845	170 824	255 547	昭和56年	338 581	54 828	82 694	201 059
32	549 034	122 061	168 803	258 170	57	336 353	53 900	81 716	200 737
33	548 872	120 539	167 435	260 898	58	336 077	53 764	81 256	201 057
34	548 610	119 802	166 114	262 694	59	332 611	52 836	80 883	198 892
35	547 388	119 045	163 625	264 718	60	330 719	52 390	80 546	197 783
36	542 201	116 991	159 779	265 431	61	323 396	50 355	79 287	193 754
37	534 583	114 020	156 891	263 672	62	313 540	48 072	77 340	188 128
38	524 439	111 751	152 136	260 552	63	299 496	45 316	74 908	179 272
39	511 781	108 673	148 288	254 820	64	286 003	43 066	72 240	170 697
40	495 994	103 008	143 463	249 523	平成2年	274 837	41 060	69 976	163 801
41	459 470	92 515	126 793	240 162	3	264 013	39 420	67 729	156 864
42	445 421	88 538	122 505	234 378	4	258 107	38 129	67 230	152 748
43	435 962	86 893	118 062	231 007	5	251 421	36 933	66 068	148 420
44	422 386	82 863	112 367	227 156	6	246 735	35 481	65 052	146 202
45	411 534	78 136	107 608	225 790	7	244 389	34 967	64 371	145 051
46	397 821	73 248	102 130	222 443	8	242 994	34 595	63 964	144 435
47	393 081	72 227	98 900	221 954	9	247 648	34 944	64 150	148 554
48	386 171	69 269	96 180	220 722	10	249 403	34 970	64 805	149 628
49	374 491	64 527	92 954	217 010	11	254 291	35 068	66 541	152 682
50	365 635	62 716	91 155	211 764	12	259 627	35 339	69 695	154 593
51	360 398	62 122	89 429	208 847	13	269 548	35 873	73 446	160 229
52	351 677	59 795	87 846	204 036	14	278 218	36 384	77 300	164 534
53	345 587	58 341	86 078	201 168	15	283 329	36 560	80 822	165 947
54	341 316	56 570	84 650	200 096	16	292 142	38 470	84 282	169 390
55	339 076	55 705	83 008	200 363	17	303 282	39 997	88 850	174 435

図11 都心3区(千代田区・中央区・港区)の人口の推移

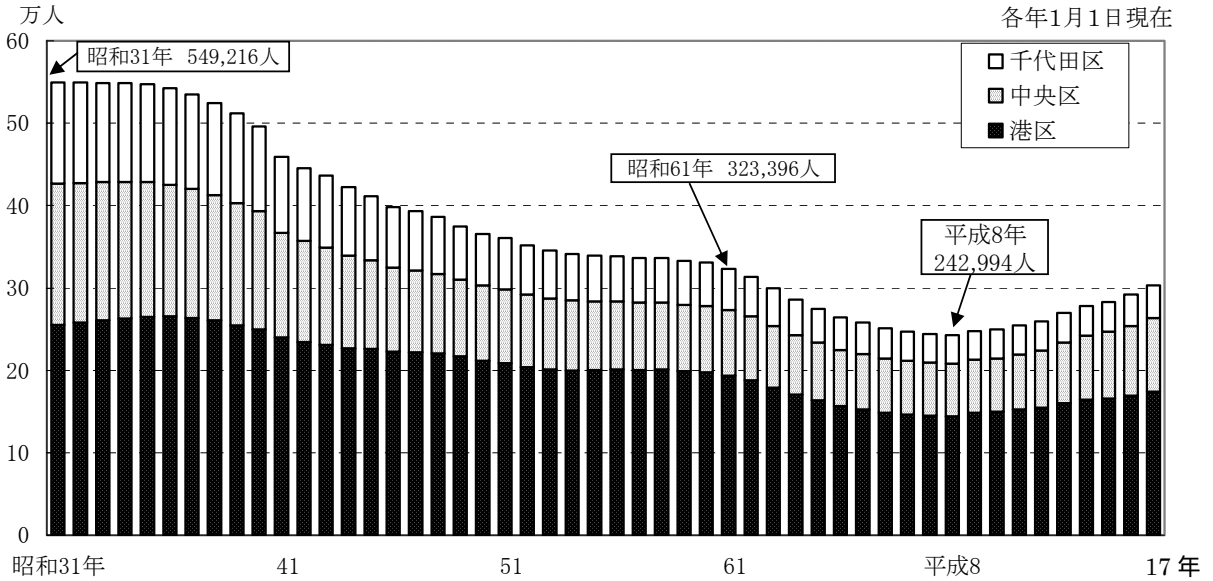


図12 都心3区における変動要因別増減人口の推移

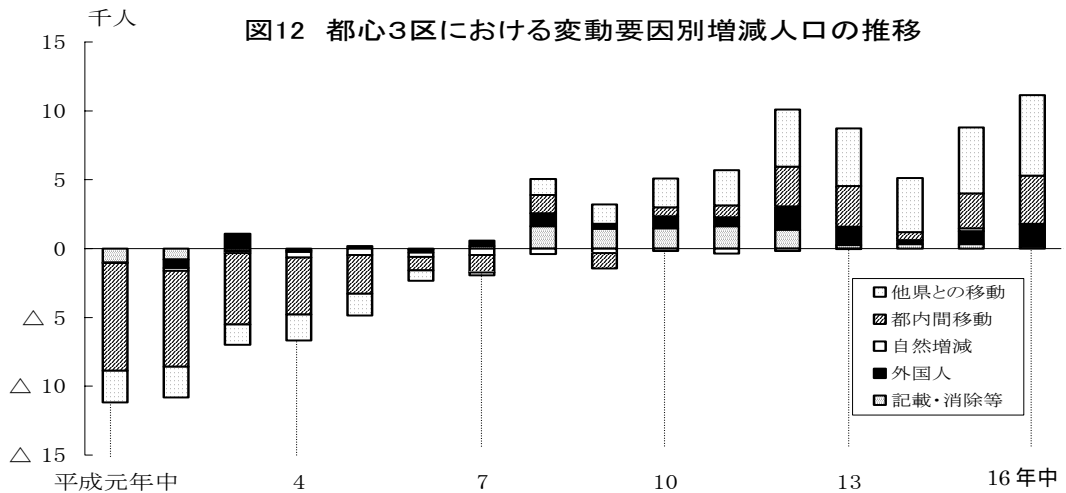


表10 都心3区の変動要因別増減人口の推移(平成元~16年中)

年次	増減人口	他県との移動増減			都内間の移動増減			自然増減			その他の増減	
		増減	転入	転出	増減	転入	転出	増減	出生	死亡	外国人	記載・消除等
平成元年中	△ 11 166	△ 2 314	13 322	15 636	△ 7 804	11 420	19 224	△ 48	2 130	2 178	6	△ 1 006
2	△ 10 824	△ 2 230	12 459	14 689	△ 6 981	11 304	18 285	△ 224	1 895	2 119	△ 581	△ 808
3	△ 5 906	△ 1 499	11 818	13 317	△ 5 172	11 264	16 436	△ 149	1 926	2 075	1 098	△ 184
4	△ 6 686	△ 1 877	10 988	12 865	△ 4 172	10 184	14 356	△ 368	1 768	2 136	△ 120	△ 149
5	△ 4 686	△ 1 566	10 718	12 284	△ 2 828	11 813	14 641	△ 456	1 638	2 094	164	0
6	△ 2 346	△ 768	10 857	11 625	△ 974	12 517	13 491	△ 305	1 796	2 101	△ 228	△ 71
7	△ 1 395	△ 209	11 145	11 354	△ 1 265	13 167	14 432	△ 480	1 727	2 207	375	184
8	4 654	1 161	11 718	10 557	1 329	15 574	14 245	△ 408	1 725	2 133	964	1 608
9	1 755	1 408	11 826	10 418	△ 1 127	13 374	14 501	△ 322	1 790	2 112	359	1 437
10	4 888	2 092	12 669	10 577	639	15 073	14 434	△ 196	1 903	2 099	880	1 473
11	5 336	2 580	12 973	10 393	878	16 218	15 340	△ 376	1 916	2 292	643	1 611
12	9 921	4 154	14 311	10 157	2 875	18 295	15 420	△ 167	2 056	2 223	1 672	1 387
13	8 670	4 158	14 380	10 222	2 963	17 881	14 918	△ 45	2 212	2 257	1 339	255
14	5 111	3 929	14 111	10 182	576	16 336	15 760	△ 15	2 235	2 250	297	324
15	8 813	4 795	15 658	10 863	2 554	19 292	16 738	188	2 474	2 286	964	312
16年中	11 140	5 826	16 934	11 108	3 500	20 066	16 566	81	2 398	2 317	1 572	161

(2) 市郡部の変動要因別増減人口の推移

平成16年中の増減人口は33,972人の増で、前年中より268人の増であった。最近10年間で見ると、平成13年中から増加人口は33,000人台で安定している。

増減人口を変動要因別にみると、他県との移動は22,592人の増で前年中より1,049人多く、都内間の移動は1,953人の増で前年中より1,090人多かった。また、自然増減については7,617人の増加であったが、前年中より420人少なく、出生数は33,979人、死亡数は26,362人であり、出生数は、平成になってから3万4千人前後とほぼ横ばいで推移している。死亡数は、平成元年中の17,476人から平成16年中の26,362人となった。

外国人登録人口は、1,257人の増加であったが前年中より1,472人少なかった。

(図13、表11)

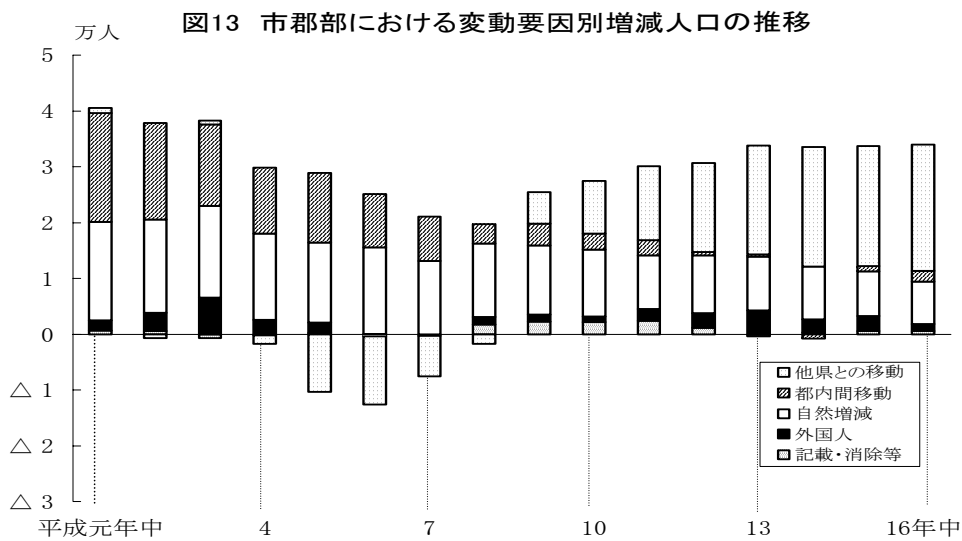


表11 市郡部における変動要因別増減人口の推移(平成元～16年中)

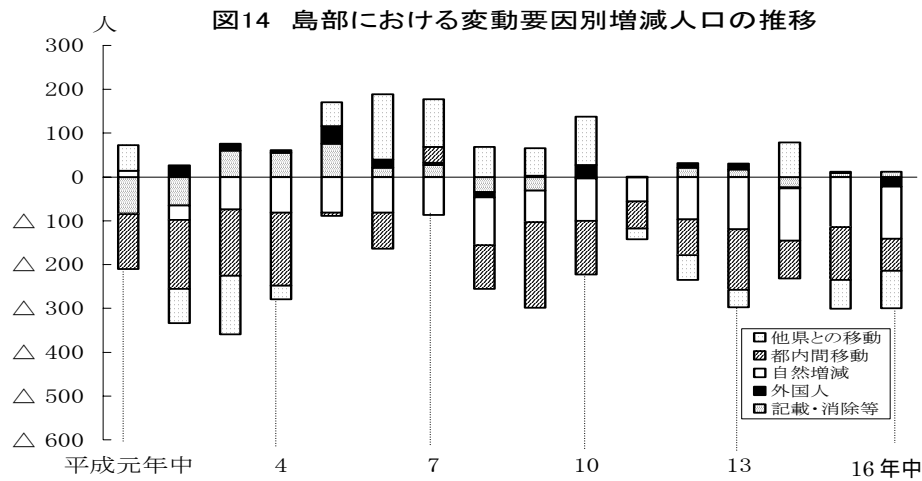
年次	増減人口	他県との移動増減			都内間の移動増減			自然増減			その他の増減	
		増減	転入	転出	増減	転入	転出	増減	出生	死亡	外国人	記載・消除等
平成元年中	40 533	905	130 963	130 058	19 469	138 638	119 169	17 634	35 110	17 476	1 906	619
2	37 096	△712	131 148	131 860	17 258	135 394	118 136	16 694	34 898	18 204	3 293	563
3	37 597	717	130 211	129 494	14 533	128 831	114 298	16 464	34 950	18 486	6 567	△684
4	28 089	△1 549	130 712	132 261	11 802	131 088	119 286	15 436	34 788	19 352	2 591	△191
5	18 549	△10 333	127 224	137 557	12 499	138 418	125 919	14 326	34 174	19 848	1 863	194
6	12 498	△12 210	124 198	136 408	9 535	143 094	133 559	15 480	35 796	20 316	77	△384
7	13 463	△7 278	125 403	132 681	7 929	149 109	141 180	13 126	34 409	21 283	△19	△295
8	17 948	△1 721	124 682	126 403	3 394	143 118	139 724	13 204	34 337	21 133	1 382	1 689
9	25 467	5 646	126 439	120 793	3 901	138 919	135 018	12 430	34 408	21 978	1 271	2 219
10	27 491	9 459	126 182	116 723	2 874	135 284	132 410	11 980	34 812	22 832	1 056	2 122
11	30 046	13 245	126 110	112 865	2 685	137 038	134 353	9 642	34 201	24 559	2 083	2 391
12	30 683	15 936	126 518	110 582	624	133 326	132 702	10 364	34 864	24 500	2 632	1 127
13	33 452	19 533	127 428	107 895	400	130 342	129 942	9 638	34 071	24 433	4 259	△378
14	32 746	21 407	126 314	104 907	△798	126 922	127 720	9 517	34 232	24 715	2 322	298
15	33 704	21 543	126 420	104 877	863	133 642	132 779	8 037	33 498	25 461	2 729	532
16年中	33 972	22 592	123 142	100 550	1 953	129 862	127 909	7 617	33 979	26 362	1 257	553

(3) 島部の変動要因別増減人口の推移

平成16年中に島部の人口は288人減少した。これを主な変動要因別にみると、他県との移動は86人の減で、都内間の移動は73人の減であった。また、自然増減については、119人の減少であった。外国人登録人口は、22人の減少であった。

平成元年中からの増減の推移をみると、他県との移動は増減を繰り返しており、都内間の移動は転出超過が続いている。自然増減については、平成2年中から減少が続いており、出生数は、元年中の306人から16年中の216人へと減少している。

一方、死亡数は、平成2年中の316人から平成16年中の335人まで300人台で推移している。  
(図14、表12)



注) 下表12の注を参照。

表12 島部における変動要因別増減人口の推移(平成元~16年中)

年次	増減人口	他県との移動増減			都内間の移動増減			自然増減			その他の増減	
		増減	転入	転出	増減	転入	転出	増減	出生	死亡	外国人	記載・消除等
平成元年中	△137	59	1 019	960	△125	1 116	1 241	14	306	292	△1	△84
2	△308	△79	910	989	△157	1 026	1 183	△33	283	316	26	△65
3	△283	△133	802	935	△152	1 074	1 226	△74	291	365	16	60
4	△218	△31	856	887	△166	1 091	1 257	△82	271	353	6	55
5	81	54	961	907	△7	1 114	1 121	△82	295	377	40	76
6	25	149	1 099	950	△82	1 131	1 213	△82	265	347	19	21
7	91	109	1 035	926	36	1 203	1 167	△87	261	348	6	27
8	△186	69	1 012	943	△99	1 078	1 177	△109	264	373	△13	△34
9	△233	63	1 057	994	△196	1 022	1 218	△72	254	326	3	△31
10	△84	111	1 029	918	△122	1 076	1 198	△97	251	348	27	△3
11	△141	△24	966	990	△62	1 111	1 173	△55	272	327	1	△1
12	△203	△57	909	966	△81	990	1 071	△97	260	357	11	21
13	△267	△41	805	846	△137	889	1 026	△120	206	326	14	17
14	△153	79	875	796	△87	799	886	△119	228	347	△2	△24
15	△289	△66	748	814	△121	897	1 018	△114	229	343	3	9
16年中	△288	△86	700	786	△73	903	976	△119	216	335	△22	12

注) 本表は、平成12年中に三宅村の全住民避難があったので、平成12年中以後、三宅村の動きは含まない。

① 避難後に、三宅村に提出された住民基本台帳上の届出等による増減を除いた。

なお、住民基本台帳上の届出数は、平成12年中に、転入7、転出27、出生9、死亡8。平成13年中は転入7、転出180、出生21、死亡37。平成14年中は転入6、転出145、出生14、死亡44。平成15年中は転入3、転出106、出生14、死亡53。平成16年中は、転入5、転出89、出生17、死亡57である。(転入、転出には、都内間移動を含む。)

② このほか、本表と図14については、全住民避難による、平成12年中の「記載・消除等」の△3,612を除いた。このため、平成12年中の増減人口は、表7と一致しない。

## 5 区市町村別人口の動き

### (1) 人口の多い・少ない区市町村

平成 17 年 1 月 1 日現在において、人口の最も多い区は、世田谷区の 835,437 人であり、次いで練馬区、大田区の順となった。

また、最も多い市町村は、八王子市の 554,392 人であり、最も少ない市町村は、青ヶ島村の 194 人である。

(表 13)

表13-1 人口の多い上位5区名(平成15~17年)

各年1月1日現在

順位	平成 15 年		平成 16 年		平成 17 年	
	区	人口	区	人口	区	人口
1	世田谷区	826 875	世田谷区	831 125	世田谷区	835 437
2	練馬区	672 045	練馬区	676 996	練馬区	681 498
3	大田区	658 261	大田区	662 507	大田区	666 061
4	江戸川区	636 294	江戸川区	640 673	江戸川区	646 096
5	足立区	621 500	足立区	622 949	足立区	624 718

表13-2 人口の多い上位5市町村名(平成15~17年)

各年1月1日現在

順位	平成 15 年		平成 16 年		平成 17 年	
	市町村	人口	市町村	人口	市町村	人口
1	八王子市	544 812	八王子市	549 064	八王子市	554 392
2	町田市	393 855	町田市	401 861	町田市	406 470
3	府中市	234 102	府中市	236 902	府中市	240 489
4	調布市	209 114	調布市	211 434	調布市	215 103
5	西東京市	183 767	西東京市	186 588	西東京市	188 796

表13-3 人口の少ない上位5市町村名(平成15~17年)

各年1月1日現在

順位	平成 15 年		平成 16 年		平成 17 年	
	市町村	人口	市町村	人口	市町村	人口
1	青ヶ島村	201	青ヶ島村	203	青ヶ島村	194
2	利島村	307	利島村	305	御蔵島村	306
3	御蔵島村	307	御蔵島村	314	利島村	309
4	神津島村	2 110	神津島村	2 077	神津島村	2 064
5	小笠原村	2 771	小笠原村	2 767	小笠原村	2 735

(2) 人口増・人口減の大きい区市町村

平成16年中の人口の増加を区市町村別にみると、江東区の7,270人が最も多く、次いで江戸川区、八王子市、港区の順となった。

一方、人口の減少は、豊島区の1,907人が最も多く、次いで板橋区、中野区の順となった。

なお、平成16年中における対前年増加率を区市町村別にみると、区部では、中央区の5.42%が最も高く、市郡部では、清瀬市の3.84%が最も高かった(島部を除く)。

(表14)

表14-1 人口増の大きい上位5区市町村名(平成14~16年中)

順位	平成14年中			平成15年中			平成16年中		
	区市町村	増減数	増減率(%)	区市町村	増減数	増減率(%)	区市町村	増減数	増減率(%)
1	町田市	7 977	2.07	江東区	8 905	2.26	江東区	7 270	1.80
2	江戸川区	7 853	1.25	町田市	8 006	2.03	江戸川区	5 423	0.85
3	江東区	7 594	1.97	練馬区	4 951	0.74	八王子市	5 328	0.97
4	世田谷区	6 243	0.76	江戸川区	4 379	0.69	港区	5 045	2.98
5	練馬区	6 070	0.91	八王子市	4 252	0.78	町田市	4 609	1.15

表14-2 人口減の大きい上位5区市町村名(平成14~16年中)

順位	平成14年中			平成15年中			平成16年中		
	区市町村	増減数	増減率(%)	区市町村	増減数	増減率(%)	区市町村	増減数	増減率(%)
1	福生市	△ 187	△ 0.30	福生市	△ 629	△ 1.02	豊島区	△ 1 907	△ 0.76
2	奥多摩町	△ 159	△ 2.16	豊島区	△ 587	△ 0.23	板橋区	△ 844	△ 0.16
3	東久留米市	△ 106	△ 0.09	武蔵野市	△ 420	△ 0.31	中野区	△ 373	△ 0.12
4	日の出町	△ 95	△ 0.58	日の出町	△ 192	△ 1.17	奥多摩町	△ 206	△ 2.92
5	八丈町	△ 73	△ 0.77	奥多摩町	△ 159	△ 2.20	国立市	△ 205	△ 0.28

注)人口減の大きい区市町村については、全住民避難があった三宅村を除いた。

表14-3 区市町村別増減率一覧(平成16年中)

区市町村	増減率(%)	区市町村	増減率(%)	区市町村	増減率(%)	区市町村	増減率(%)
千代田区	3.97	杉並区	0.18	府中市	1.51	東久留米市	0.58
中央区	5.42	豊島区	△ 0.76	昭島市	0.03	武蔵村山市	0.52
港区	2.98	北区	0.14	調布市	1.74	多摩市	0.33
新宿区	0.73	荒川区	0.06	町田市	1.15	稲城市	1.77
文京区	1.30	板橋区	△ 0.16	小金井市	0.58	羽村市	0.05
台東区	1.00	練馬区	0.66	小平市	0.27	あきる野市	0.28
墨田区	1.23	足立区	0.28	日野市	0.64	西東京市	1.18
江東区	1.80	葛飾区	0.36	東村山市	0.65	瑞穂町	0.00
品川区	1.31	江戸川区	0.85	国分寺市	0.79	日の出町	△ 0.70
目黒区	0.12	八王子市	0.97	国立市	△ 0.28	檜原村	△ 1.49
大田区	0.54	立川市	1.22	福生市	0.23	奥多摩町	△ 2.92
世田谷区	0.52	武蔵野市	0.59	狛江市	0.54		
渋谷区	△ 0.04	三鷹市	0.65	東大和市	0.28		
中野区	△ 0.12	青梅市	0.30	清瀬市	3.84		

注)島部を除く。